

2021年度事業報告

I. 概要

2021年度の住宅着工は、分譲マンションの減少が目立つものの全体では前年度比6.6%増の86.6万戸となり、3期ぶりの増加となったが、世界情勢の変容や木材をはじめとする各種資材の価格高騰が続いており、今後の動向に注視を要する。また、2021年秋以降は、新型コロナウイルス感染症の拡大等による世界的なサプライチェーンの混乱等から住宅部品の納入遅延等が生じたが、概ね回復してきている。

住宅施策においては、新たな住生活基本計画がスタートするとともに、2050年カーボンニュートラル実現に向け、改正建築物省エネ法による説明義務制度等の施行、2020年度からの「グリーン住宅ポイント制度」の継続実施とこれに続く「こどもみらい住宅支援制度」の創設などが行われるとともに、年度末には省エネ性能に応じたメリハリを付けた上で住宅ローン減税の適用期間延長等が行われた。

これらの動きを踏まえつつ、「良質な住宅部品の供給・普及」「優良住宅ストック社会実現に向けた貢献」という当協会（ALIA）のミッション遂行に向け、中期活動計画（2020～2025年度）で掲げた三つの重点項目を中心として、関係団体との密接な連携の下、部会・委員会等において、積極的な事業活動を展開した。その際、2020年10月に（一財）ベターリビング（以下「BL」）とともに行った「住宅部品×SDGs宣言」を踏まえ、事業活動が社会課題の解決や住宅産業の持続的発展に寄与することを意識しながら事業活動を展開するとともに、SDGs推進のための新たな事業活動についての検討を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、部会・委員会等の開催や事務局の勤務体制への制約が続いたものの、WEB会議やテレワークの活用により、事業活動への大きな支障は回避できた。

II. 主要活動事項

1. 良質な住宅部品の供給・普及

(1) 環境・健康に配慮した住宅部品の供給・普及

[SDGs 目標：3、6、7、12、13、14、15]

- ① 建築物省エネ法、ZEH(ゼロエネルギーハウス)などの省エネに係る各種制度や、2050年カーボンニュートラル実現に向けた国の審議会での議論等について、情報収集・情報共有を行った。
- ② グリーン住宅ポイント制度の制度内容、申請状況、申請期限の延長等に関する情報収集・情報共有を行った。
- ③ 「住宅における良好な温熱環境実現推進フォーラム」等に参画するとともに、各部会等において活動状況を共有した。
- ④ 断熱性能等に優れた外皮仕様の普及のため、外皮の機能・性能等についての説明動画を作成し、ホームページで公開した。
- ⑤ 開口部の熱性能評価プログラム「WindEye」について、性能から商品等を検索する「逆引き計算機能」を開発し、利用促進を図った。

- ⑥ 隔板、窓用シャッター、良好温熱性能を有する浴室ユニットなどのB L 部品の認定基準の制定・改正に協力し、会員への迅速適切な情報提供や会員各社の意見の取りまとめを行った。
- ⑦ B L 部品の普及促進に努めるとともに、ユーザーへのB L 部品の認知度向上を図った。

(2) 住宅・住宅部品に関わる新たな課題への対応〔SDGs 目標：3、8、9、12〕

- ① 新たに創設された「こどもみらい住宅支援制度」の活用による住宅部品の需要喚起等に向けて、国土交通省の協力を得て、会員向けの制度説明会を開催した。
- ② コロナ禍を契機とした生活様式の変化を踏まえた消費者ニーズ等について、様々な角度からのインターネットアンケート調査を実施した。
- ③ テレビ共同受信機器について、4K8K 衛星放送に対応するための施工容易で低コストな改修方法の提案のための実験を実施した。

2. 「住宅部品の点検」を核とした優良住宅ストック社会実現への貢献

(1) 安全安心な住宅部品のあり方の追求〔SDGs 目標：12〕

- ① 経年劣化情報を軸としたビルダー向けのツール「住宅部品経年劣化スタディブック」を新たに作成した。
- ② 故障時の危険度の大小、点検のしやすさ等の観点から住宅部品の類型化を行い、望ましい点検のあり方について研究した。
- ③ 住宅用火災警報器の全国設置義務化から 10 年を迎え、行政機関・各消防等の取組状況を把握・共有した。
- ④ キッチン設備の劣化に対する消費者の意識・行動調査を行った。

(2) 適切な維持管理（点検）からリフォームへつなげる仕組みの構築

〔SDGs 目標：8、11、12〕

- ① 「人生 100 年時代、長く快適に住まうためには」をテーマに、2021 年 10 月 6 日に第 10 回「住宅部品点検の日シンポジウム」を開催した。
- ② 消費者への住宅部品点検の普及推進策として、点検キャラクター「ジュウテンジャー」を素材とした幼稚園児による「ぬりえ」キャンペーンを企画・実施した。
- ③ 既存戸建住宅への住み替え意向に関し、地方部を含めたインターネット調査により、既存住宅への関心度、既存住宅流動化のための施策の評価、想定されるリフォーム需要などについて把握・分析した。
- ④ 東京都 WEB 交流フェスタ（東京都消費者月間事業）に WEB 上のブース（ALIA サイト、クイズラリー、ジュウテンジャーぬりえ）を出展し、住宅部品点検に対しての啓発を実施した。（WEB 公開期間：10 月 22 日～1 月 31 日）
- ⑤ 今後の住宅部品の点検活動について、目標及び目標達成に向けた取組みなどをまとめる中長期ロードマップづくりを進めた。

3. 情報発信・政策提言・提案の強化〔SDGs 目標：17〕

- ① 機関誌「ALIA NEWS」を年 4 回発行した。特集では、新たな住生活基本計画や住宅のレジリエンスなど重要なテーマを取り上げるとともに、ALIA の事業活動、住宅業界や会員の動向などの発信に努めた。

- ② タイムリーな情報発信のため、メールマガジンの配信充実に努めるとともに、住宅部品基礎知識サイト「アメニティ Cafe」と住宅部品点検スペシャルサイト「ジューテン」について、YouTube の活用を含め、内容を充実した。
- ③ 2021 年度版「住宅部品統計ハンドブック」を編集・発行した。
- ④ (一社)住宅生産団体連合会(以下「住団連」)、(一社)住宅リフォーム推進協議会、(一社)ベターライフリフォーム協会など関連諸団体との連携活動を継続し、国への制度改善の提案、調査研究等を実施した。
- ⑤ 国の 2022 年度予算要求に関連して、会員各社の協力を得て、部分断熱改修・設備改修等に関する技術情報等を国に提供した。また、コロナ禍等による給湯器等の納入遅延について、会員各社から国への個別状況説明等の実施を調整した。
- ⑥ 住宅関連の法制度、補助、融資、税制等に関し、関連諸団体と連携しつつ迅速・的確な情報収集と会員への情報提供を行った。
- ⑦ 研究成果の会員等への提供等のため、事業成果物を発行するとともに、2021 年 6 月 29 日に B L と合同で「B L ・ ALIA 研究成果合同発表会」を開催した。

4. SDGs への取組〔SDGs 目標：全般〕

- ① 「住宅部品×SDGs 宣言」を踏まえ、主要活動事項と各部会・委員会等の事業計画に国連が掲げる SDGs (持続可能な開発目標) の対応目標を明示し、事業活動が社会課題の解決や住宅産業の持続的発展に寄与することを意識しながら、事業活動を展開した。
- ② SDGs 推進に関わる部会委員会活動や会員個別の取組を踏まえ、モノづくりを通じた取組ではカバーし難い社会問題分野での SDGs 達成への貢献方策等を検討した。

III. 事業企画部会〔SDGs 目標：全般〕

- (1) 事業計画や予算など、運営委員会への付議事項について、検討を行った。なお、経費削減等の観点から、事務局職員等の旅費の適正化のための旅費規程の改正を検討し、運営委員会を経て理事会(2021 年 11 月 24 日)において承認された。
- (2) 住生活関連の法令・制度、助成策、金融政策、税制等に関し、情報の収集と対応方針の検討を行った。
- (3) 「住宅部品×SDGs 宣言」を踏まえ、SDGs 検討WGを設置し、国・地方公共団体・NPO 等へのヒアリングにより各種社会貢献活動への取組状況や課題等を把握し、モノづくりを通じた取組ではカバーし難い社会問題分野での SDGs 達成への貢献方策等を検討した。

IV. 広報部会〔SDGs 目標：12、17〕

会員向け情報提供及び対外広報を強化・充実するため、ALIA 事業の認知度向上を目指す下記の活動を実施した。

- (1) ALIA NEWS の発行
- (2) WEB サイトの充実・活用
- (3) 広報イベントの実施
- (4) 研究成果報告会の開催

(5) 住宅業界関連団体との連携強化

なお、住生活月間中央イベント企画運営委員会を通じ情報収集と連携を図ったが、出展（京都）は見送った。

また、事業企画部会 SDGs 検討 WG に参加し、支援活動を行う際の広報部会としての連携の必要性を確認した。

【ALIA NEWS編集委員会】〔SDGs 目標：17〕

ALIA NEWS を季刊で 4 回編集・発行した。

(1) 春号 (VOL. 171 : 2021 年 5 月 20 日発行) : 特集「新たな住生活」

(2) 夏号 (Vol. 172 : 2021 年 8 月 10 日発行) 特集「レジリエンス」

(3) 秋号 (Vol. 173 : 2021 年 11 月 20 日発行) :

特集「住宅部品の長期使用と安全点検」

(4) 新年号 (Vol. 174 : 2022 年 1 月 20 日発行) : 特集「2022 年を迎えて」

特集テーマのほか、ALIA 及び B L の活動紹介、行政の動き、会員各社及び団体の事業活動や新技術・新製品紹介等を掲載した。

【WEB企画・管理委員会】〔SDGs 目標：17〕

(1) WEB サイトの充実のため、理事会・総会の報告、「協会案内」更新、「B L・ALIA 研究成果合同発表会」開催報告、「第 10 回住宅部品点検の日シンポジウム」開催報告、「ベターリビング関連情報」の追加、「アメニティ Cafe」の更新、YouTube への動画掲載を実施した。

※ サイト更新件数：2021 年度 110 件（対前年度 97%）

(2) WEB サイトの管理として、「アメニティ Cafe」への動画掲載ルールの検討、「アメニティ Cafe」更新日の記載開始、WEB サイトへのアクセスログの把握・分析・報告、会員サイトの古い情報の整理を実施した。

(3) 「ジュウテン」サイトの認知度向上に向けて、住宅部品点検の日シンポジウムに合わせて、リスティング広告（検索キーワード連動型広告）を掲載した。

(4) ALIA の活動を紹介する月一回の定期メールマガジンを企画・配信。

(5) 下記委員会の「ジュウテン」サイトへのツール掲載・コンテンツ作成・広告出稿等をサポートした。

- ・点検普及ビルダー対応委員会（「住宅部品経年劣化スタディブック」掲載）
- ・点検普及消費者対応委員会（点検啓発チラシ掲載、ぬりえキャンペーン告知広告出稿・ぬりえ紹介ページ、YouTube への動画掲載）
- ・イベントWG（YouTube への動画掲載）

【イベントWG】〔SDGs 目標：12、17〕

(1) 「第 10 回住宅部品点検の日シンポジウム」の開催等

新型コロナウイルス感染症対策のためWEB(Zoom ウェビナー)を活用して開催した。

① 日程：2021 年 10 月 6 日（水）14：15～17：45

② 会場：東京大神宮マツヤサロン（発信場所）

③ テーマ：「人生 100 年時代、長く快適に住まうためには
～みんなに知ってほしい点検の大切さ～」

- ④ プログラム
 - 1) ALIA 活動報告
 - 2) 基調講演「令和時代の住まいの点検」（消費者庁長官 伊藤 明子 氏）
 - 3) パネルディスカッション
 - ・テーマ：「人生 100 年時代に向けて、点検の大切さを伝えるには！」
 - ・メンバー：明治大学 向殿名誉教授ほか
- ⑤ 後援：国交省等 5 団体、協賛：ベターリビング等 36 団体（新規協賛：（公社）日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会、（一社）日本住宅リフォーム産業協会など 4 団体）
- ⑥ 参加者：250 名（内 WEB 参加 219 名）
- ⑦ 次回以降の開催検討に活用するため WEB 方針での来場者アンケートを実施。
- (2) 各部会・委員会等との連携による活動
 - ① 上記シンポジウムの告知及び結果報告（ALIA NEWS、ホームページ等）
 - ② 「BL・ALIA 研究成果合同発表会」を運営。
 - ③ 「ジュウテンジャー」の効果的活用法の検討。

V. 専門部会

1. 消費者・制度部会〔SDGs 目標：9、12、17〕

- (1) 住宅部品と消費者との係りの調査・研究
 - ① テーマ：「コロナ禍における住宅部品需要調査」
 - ② 調査概要
 - ・経費抑制の観点から、類似テーマを掲げる環境部会と共同で実施。（設問は両部会で検討・調整。）
 - ・インターネットを通じたアンケート調査で、本調査 41 問（内、当部会独自は 16 問）
 - ・サンプル数は、予備調査 8,294、本調査 400（2021 年 11 月実施）
 - ③ 趣旨と結果概要

コロナ禍による必要とされる住宅空間・住宅設備の変化と、その住宅設備を「どのように手に入れたいか」を調査。生活者の購買が所有から利活用に変容する動きに着目し、住宅設備のサブスクリプションサービスの事例を挙げて、各世代ごとの受容性を調べた結果、20～44 歳の「ポスト団塊ジュニア世代」「ミレニアル世代」「ジェネレーション Z 世代」を中心に一定のニーズが見られた。
- (2) 消費者接点となる施設等を訪問し、交流することで住宅設備・建材業界の消費者経営の参考とするため、2021 年 12 月 23 日にミサワパーク東京（東京都杉並区）の施設見学会を実施。
- (3) 建築行政・制度情報の収集と展開
 - ① 他団体等より、建築行政情報を入手し、情報共有した。
 - ② 2022 年建築規制等合理化要望、脱炭素社会に向けた住宅建築物における省エネ対策、建築基準制度等に関する情報を共有した。
- (4) 前年度調査「人生 100 年時代に向けた住宅設備・建材のニーズ把握調査」の結果概要を、ALIA NEWS（2021 年秋号）に掲載するとともに、第 10 回「住宅部品点検の日」シンポジウムで報告した。

2. 環境部会〔SDGs 目標：7、11、12、13、14、17〕

(1) 調査研究事業

① テーマ：「コロナ禍における住宅部品需要性調査」

② 調査概要

- ・経費抑制の観点から、類似テーマを掲げる環境部会と共同で実施。（設問は両部会で検討・調整。）
- ・インターネットを通じたアンケート調査で、本調査 41 問（うち当部会独自は 25 問、うち 5 問はトイレルーム部会と連携した自由記入形式。）
- ・サンプル数は、予備調査 8,294、本調査 400（2021 年 11 月実施）

③ 趣旨と調査結果

コロナ禍による生活の変化や住宅部品へのニーズ・意向の変化を調査。自宅時間の増加などを背景に、家事増加、水道光熱費増加への不満が多く見られた。省エネ住宅と断熱リフォームの認知と購入意向については、費用対効果やメリットが浸透していないという結果であった。「家計」や「家事ストレス」を解消してくれる住宅部品のメリットをしっかりと伝えていくことの重要性が認められた。

(2) 国や関係団体からの情報として、①グリーン住宅ポイント制度、②住宅の浸水対策ガイドライン、③脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネルギー対策のあり方検討会、④国土交通省の 2022 年度予算・税制改正、⑤クリーンウッド法の見直し、⑥プラスチックに係る資源循環の促進に関する法律、⑦良質な住宅・建築物の取得・改修に関する支援制度、⑧住団連の住宅性能向上委員会WG・SWGなどに関する情報を共有した。

(3) 前年度調査「家事負担に関する意識・実態調査」の結果概要を「BL・ALIA 研究成果合同発表会」で報告した。

3. リフォーム・施工部会〔SDGs 目標：8、11、12、17〕

(1) 住団連の住宅ストック研究会に参加し、①リフォーム市場活性化の方策検討、②新築・既存リフォームへの支援内容比較と今後の支援策要望の提出、③建築士・施工管理士資格検定の際提出する経験経歴の物件記入の簡略化の検討と提案提出、④ALIA 調査研究事業「既存戸建て住宅購入に関する生活者意識調査」の報告、⑤社会資本整備審議会の検討資料「建築物の省エネ化」の対象品目に水回り部品の記述を追記要請し具現化、⑥「安心R住宅」施策の普及強化に向けた提言提出など、幅広い活動を行った。

(2) 住団連の技能者問題委員会に参加し、技能士キャリアアップシステム（CCUS）の骨子とりまとめを実施した。

(3) （一社）リフォーム推進協議会の市場整備委員会、税制制度WG（新設）、新事業モデルWG、広報委員会に参画し活動した。

(4) 2023 年度に向けたリフォームに関する予算・制度要望をとりまとめ、素案 11 案を運営委員会提出した。

(5) 他団体の活動報告、行政要望等を議論し会員各社と情報を共有した。

(6) 調査研究事業

① テーマ：「既存戸建て住宅への住み替えに関する生活者の意識調査」

② 調査方法：インターネットによるアンケート調査（全国 400 サンプル）

③ 結果概要：

首都圏以外でも、既存住宅はマンション志向が強い。しかし、既存戸建て住宅について行政の注力している①住宅履歴、②住宅保証、③インスペクション調査などを説明したところ、既存戸建て住宅について肯定的な回答が増えた。また「安心R住宅」の認知度は3.5%と低く、上記と共に課題が浮き彫りとなった。

4. 住宅部品点検推進部会〔SDGs 目標：11、12、17〕

(1) 住宅部品点検の普及・促進活動

居住者の安全安心快適な生活のために、住宅部品点検の重要性を認知していただく活動を実施した。認知度の指標として、「ジュウテン」サイトの閲覧数や「自分で点検！ハンドブック」「住宅部品経年劣化スタディブック」の販売数・ダウンロード数の推移把握を継続した。

(2) 「第10回住宅部品点検の日シンポジウム」の準備と振り返り

部会が主体となってテーマを決定し、広報部会・イベントWGと連携を密にしてプログラム構成を決めた。アイデアが簡単に出ない中、委員長会議を立ち上げて対応した。振り返りでは「シンポジウムで何がしたいのか」という原点に立ち返り議論を進めた。

(3) 今後10年間の部会活動の方向性を示す部会ロードマップの方向性を明示した。

活動の軸として、住宅部品点検の日シンポジウム、点検普及推進活動、「ジュウテン」サイトの管理の3つを設定し、具体内容を都度詰めていながら今後の活動を進めていくこととした。

(4) (一財)日本宝くじ協会助成事業(「自分で点検！ハンドブック」啓発事業)の継続実施のため、宝くじハンドブックWGを立ち上げ、「自分で点検！ハンドブック」の無償版の内容の見直しと作成を行い、各種イベント参加者や関連団体・消費者団体等に配布した。

【点検普及ビルダー対応委員会】〔SDGs 目標：11、12〕

(1) ビルダーを通じた新たな啓発ツールの企画検討・制作

① 経年劣化情報を軸にまとめたビルダー向けのツール「住宅部品経年劣化スタディブック」(32ページ)を9月に発刊。ALIA会員等に配布し、6社より125部の注文があり販売した。

② (一社)ベターライフリフォーム協会のWEBセミナー「寺子屋」で「住宅部品点検ツールと活用事例のご紹介」と題してセミナーを実施した。(47名が参加。)

(2) 「自分で点検！ハンドブック」改訂版および新たな啓発ツールを用いたビルダーへの更なる普及啓発策の検討

① 長期使用製品安全点検制度の法令改正を踏まえて、「自分で点検！ハンドブック」を改訂し1万部増刷。(ホームページのPDFファイルも差し替え。)

・2021年度販売実績(2022年3月15日現在)：745部、購入者数：13社・団体(新規：6社・団体)

② 普及啓発のための情報発信を、1)リフォーム団体等の既存発信ルート、2)居住者に近いと考えられる新たな団体ルート、3)WEBを活用したルートの3つに分けて整理アプローチを検討した。

1)は協力団体を絞り、より積極的にビルダーにアプローチする方策を検討し、前述のセミナー「寺子屋」を企画、実施した。2)3)については、検討結果を住宅部品点検推進部会に共有し更なる検討を依頼した。また今後の普及啓発策の検討のためには市場における点検実態の把握が必要との判断に至り、調査実施に向けて検討に着手した。

【点検普及消費者対応委員会】〔SDGs 目標：11、12〕

(1) 消費者関連団体と連携した消費者への普及啓発活動

① 東京都WEB交流フェスタ2021

- ・コロナ禍で二年続けて WEB 開催となり特設サイトのウェブスに出展した。
(2021年10月22日～1月31日)
- ・「ALIA 事業活動」「自分で点検！ハンドブック」「ジュウテンジャー動画」等の紹介を行い、サイト訪問者に住宅部品点検の啓発・情報提供を行った。
- ・「ぬりえオンライン展覧会」に「ジュウテンジャー」のぬりえ型紙を提供し ALIA 点検キャラクターの周知を行った。

② (公社)全国消費生活相談員協会及び(公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会

支部を対象に住宅部品ショールーム研修会を検討・調整したが、コロナ禍等を踏まえ中止となり、2022年度開催で再調整することとした。

(2) 消費者啓発策の企画検討

① 「ジュウテンジャーぬりえキャンペーン」を企画・実施した。

- ・公募方法：公募ガイド ONLINE (無料)・リスティング広告、ALIA・協力団体メルマガ他にて周知
- ・対象：小学生以下、幼・保育園児 (日本国内)
- ・期間：2021年12月1日～2022年1月31日
- ・結果公表：ぬりえ作品は「ジュウテン」サイトで展示

② 「ジュウテン」サイトの「ジュウテンジャー」動画5点について、台詞の音声化を実施した。(2021年9月末公開。)

③ 点検啓発チラシの活用を図るため、ホームページの掲載方法の見直しを実施した。

【業界連携委員会】〔SDGs 目標：11、12、17〕

(1) 住宅部品関連団体との交流

① 「住宅部品関連団体連絡会」について、開催目的の再整理など十分な準備期間を確保することとし、コロナ化も踏まえて、今年度内の開催を見送った。

② シンポジウムへの参加等を通じて ALIA の点検普及活動に興味を持った (一社)日本ツーバイフォー建築協会より、同協会会員 (ビルダー) 向けのセミナー開催に向けての協力の打診を受け、点検普及ビルダー対応委員会と連携しながらセミナー開催に向けての準備を進めた。

(2) 普及・啓発活動

① 「住宅部品点検の日」シンポジウムの新たな協賛団体の獲得に向けて活動し、住宅産業協議会及び長期使用住宅部材標準化推進協議会が、新規の協賛団体となっ

た。

- ② シンポジウムの協賛団体に対し「ジュウテン」サイトを周知し、各団体のツールを紹介するコーナーに新たに6ツール（6団体）を追加した。
- (3) 消費者やビルダーにとってメリットとなる点検の仕組み作りに向けて、消防や自治会等と連携しながら住宅用火災警報器の取替促進を図っている（一社）日本火災報知機工業会を対象にヒアリングを実施した。
- (4) （一社）日本レストルーム工業会が発送する安全啓発パンフレットに、ALIAの「点検安全啓発チラシ」の同送を依頼した。送付先は、各都道府県の消費者行政の担当セクションや消費生活センターなど約100箇所で、今後のアプローチに向けたきっかけづくりとした。

【住宅部品点検研究委員会】〔SDGs 目標：11、12、17〕

- (1) 住宅部品の類型化を進め点検の意味、位置づけを整理し、将来的に、住宅価値を高める（維持する）あるいは住宅部品の取替を促進する点検のあり方の検討に繋げて行くため、下記活動を実施した。
 - ① 住宅部品ごとの担当委員を決め、調査分析を行い、ALIA ホームページ、「自分で点検！ハンドブック」の表現の変更の検討を行った。
 - ② 住宅部品の分類・類型化に関しては、住宅部品ごとに点検行動のフォーマットを作成し、「居住年数および築年数で分ける」「持ち家、賃貸で分ける」「点検項目は安全・快適・省エネというキーワードを判断基準に必要項目の取捨選択をする」といった方法でまとめた。注意事項として、メーカー側の都合とユーザー視点を分けてまとめを行った。
 - ③ 分類・類型化フォーマットまとめ資料は、住宅部品点検推進部会の各委員会の意見を募ってまとめた。
- (2) 消費者団体や、直接消費者と接している住宅生産者との意見交換、ヒアリング等を通じて、消費者が点検に関わるための課題整理と取組み（新たなツールの作成等）を提案するため、ALIAの他の部会・委員会で過去に行った調査・ヒアリング等を参考に討議し、今後の情報収集の参考とした。
- (3) IoT関連の講演会の企画など、IoT情報について継続的に注視するため、先進的に活動している企業・団体の情報の収集や、委員各社が対応している商品について、点検につながる情報を共有した。

VI. 空間等別部会・部品別委員会

1. トイレルーム部会〔SDGs 目標：3、6、7、8、12、17〕

【温水洗浄器委員会】【洗面化粧ユニット委員会】

- (1) 「アメニティCafe」の「洗面化粧ユニット」の改訂内容案を協議しホームページへ掲載した。
- (2) 環境部会の「コロナ禍における住宅部品需要調査」に合わせてWEB調査を実施した。記述式5問を実施した結果、掃除や消毒への意識向上、外出時のトイレ使用回避の行動変化、トイレのふた・ドア・水栓等手に触れる箇所の自動化要望の意見が多く、今後の部会活動の取り組みの参考にすることとした。
- (3) 自動水栓のBL認定基準化についてJIS性能規定を引用する予定であるが、ダブ

ルスタンダードにならないように日本バルブ工業会と協議推進した。

(4) 下記の情報共有等を行った。

- ① 物流に関してひっ迫した課題を解決するため、キッチンバス工業会の物流課題特別委員会の情報共有。
- ② 国土交通省の建築設備計画・設計基準（茶本）等改訂の情報共有。
- ③ 点検普及ビルダー対応委員会と連携し、新たに発行した「住宅部品経年劣化スタディブック」の作成に向けて意見出し等を実施。

2. バスルーム部会〔SDGs 目標：3、6、7、9、12、17〕

【浴槽委員会】【浴室ユニット委員会】

(1) 浴室ユニットのBL基準改正および水まわりのBL認定基準見直し着手・改正、シャワーユニットの新基準作成着手について、BLからの情報を随時共有した。

(2) 情報収集と対応

- ① 住団連の住宅の浸水対策ガイドライン作成に対し、関連する対応事例を各社より提供。
- ② 脱炭素化（省エネ）リフォーム支援策提案の材料となる浴室関連部品を事務局に提案。
- ③ 住宅金融支援機構のリフォーム融資（高齢者向け返済特例）に4月より「ヒートショック対策工事」が追加され、浴室ユニット化が対象に含まれることを共有。
- ④ 2021年度長期優良住宅化リフォーム推進事業において浴室の改良を含む「高齢者に備えた住まいへの改修工事」が追加された情報を共有。
- ⑤ BLから「長寿社会対応としている住宅部品の整理等『浴室ユニット』」に対するヒアリング要望があり各社で対応。
- ⑥ 「良好な温熱環境実現推進フォーラム」の取組み内容などを共有。

(3) 調査・研究等の実施

- ① (株)バスクリンの研究者石澤太市氏を講師に迎え、「健康と入浴」というテーマで2021年10月28日にZOOMウェビナーにて講演会を開催。委員会社・BL・関連部会委員など49名が参加し、開催後のアンケートでは大変高い評価であった。入浴剤を使用する入浴効果のほか、入浴剤を入れた時の実演映像解説や、入浴剤が浴室設備に配慮した成分構成になっていることなど新しい発見もあり、たいへん有意義な講演会となった。
- ② 入浴は多様化しているとの仮定からその実態把握のための調査を実施。WEBアンケートで1080件のデータを取得し、世代別・性別・ライフステージ別の入浴行為の実態を把握し、分析を行った。
- ③ シャボン玉石けん(株)のWEB工場見学を実施。昔ながらの無添加石けんの製造工程見学を質疑応答しながら体験でき、WEBではあったが参加者の満足度の高い見学となった。

3. リビングルーム部会〔SDGs 目標：11、12、15、17〕

【階段・はしご段委員会】【内装システム委員会】【内装ドア委員会】

(1) BL認定基準「内装ドア」の改訂、BL-bs部品の見直し、優良住宅部品認定制度ハンドブック、リビングルーム部会関連製品の認定基準改定等の情報を共有した。

- (2) 日本繊維板工業会「JIS A 5905 繊維板および JIS A 5908 パーティクルボード」改正委員会に使用者側委員を派遣し、改正内容の共有を行った。
- (3) 点検普及ビルダー対応委員会作成の「住宅部品経年劣化スタディブック」の内装建具ページの最終制作物の確認を行った。
- (4) 「内装建材の警告表示に関するガイドライン」に(株)LIXIL 作成のハザードピクトグラムを掲載し、使用者に分かりやすい内容に改訂を行った。
- (5) 国土交通省施策等について、運営委員会資料より抽出して共有した。

4. キッチンルーム部会〔SDGs 目標：6、11、12、17〕

【キッチンシステム委員会】【調理用加熱機器委員会】

- (1) 「キッチン設備・機器の劣化に対する生活者の意識・行動調査」について協議し、長期使用についての意識・行動のインターネットアンケート調査を実施した。
- (2) B L-bs 部品の認定基準改訂作業の状況について、情報共有を行った。
- (3) リフォーム情報交換会として、(有)アド・リビング（千葉県柏市）立澤社長との WEB 会議を開催し、商品・施工・商談スタイルについての現状やご意見、業界へのご要望などが伺った。
- (4) 「アメニティ Cafe」のキッチンサイトについて、一般ユーザー向けに再構築すべく、項目ごとに担当を定め、検討を進めた。（更新は次年度以降。）

5. 住宅情報部会〔SDGs 目標：7、9、11、12〕

傘下3委員会の個別活動を基本としつつ、関連した講演会、施設見学会、研修会等を企画し情報・課題を共有する予定であったが、コロナ禍の影響で開催できなかった。

【住宅情報システム委員会】〔SDGs 目標：7、9、12〕

- (1) 東京ガス(株)、河村電器産業(株)、(株)LIXIL から、各社の IoT 商材の紹介をいただき、また、パナソニックからエコーネットコンソーシアムの活動として、実装機器の登録台数実績や Iot ライフサービスの実現に向けたスケジュールや KPI について説明いただき、委員会で共有した。
- (2) 委員各社のリフォーム事業の紹介や課題について共有し、対象部品の適切な維持管理からリフォームへつなげる仕組みを研究した。また、各社の発表に加え、火災・ガス警報委員会にて報告された住警器の設置・交換状況に関する詳細データを共有した。
- (3) 消費者認知を目的に、「アメニティ Cafe」について委員各社の最新機器へ情報を更新（主に製品画像）し、住宅部品に関わる最新情報を発信した。

【テレビ共同受信機器委員会】〔SDGs 目標：9、12〕

「新 4K8K 衛星放送」を受信するために必要となる B L 部品を用いた 3.2GHz 伝送システムに関することを中心に、傘下の各 WG と連携し様々な検討を行った。

- (1) 技術 WG：既存集合住宅を「新 4K8K 衛星放送」対応受信システムに改修するための課題解決に向けた検討を行った。より安価で容易に施工することが可能となるように、機器の設置場所やシステム構成を変更せず改修工事に対応できる機器の仕様を検討するとともに、機器単体およびシステムでの実証試験を実施してその有効

- 性について確認を行った。また、国土交通省「公共建築工事標準仕様書」、(一社) 公共建築協会「電気設備工事監理指針」の改訂作業に伴う意見の取りまとめを行った。
- (2) 普及WG：2019 年度の実証試験報告書「テレビ共同受信システム機器試験報告書－「新 4K8K 衛星放送」施工・調整時の課題－」の市販対応を昨年度に引き続き行い、ALIA ホームページ上で公開した。また、2020 年度の実証試験報告書「テレビ共同受信システム機器試験報告書－「新 4K8K 衛星放送」受信システムへの改修時の課題－」を関係団体に配布し、B L 部品についての周知、普及を行った。
- (3) 統計WG：B L 部品に関する出荷統計を毎月とりまとめ、今後の受信システム機器の在り方の調査・検討を行った。

【火災・ガス警報委員会】〔SDGs 目標：11、12〕

- (1) 2020 年における火災状況（消防白書）の情報共有（住宅火災の死者はここ 5 年位横ばいで下げ止まっている。）
- (2) 住宅用火災警報器全国設置義務化 10 年を迎え、行政機関等からの最新の情報を共有した。
- ① 火災予防啓発動画（消防庁）
 - ② ゲームソフト「戦国無双 5」とタイアップした火災予防広報ポスター（消防庁）
 - ③ 「高齢者の生活実態に対応した住宅防火対策のあり方に関する検討部会報告書」（消防庁）
 - ④ 「住警器の作動状況等に関する調査報告について」（協会検定だより：日本消防検定協会）
 - ⑤ 2021 年度日本火災学会研究発表会概要集「住宅用火災警報器の維持管理・更新に関する実態調査」（東京理科大学水野准教授他）
 - ⑥ 東京消防庁での住宅用火災警報器点検の SNS 広報（住宅部品点検の日と連動した東京消防庁とコラボ）
- (3) 工業会からの情報の共有
- ① (一社) 日本火災報知機工業会：「石坂浩二さんと学ぶ住宅用防災警報器 DVD（住宅防火推進協議会）」
 - ② ガス警報器工業会
 - 1) ガス警報器のリメイク運動について
 - ・新規ポスター：ガス警報器の設置交換の促進（2021 年 4 月～2024 年 3 月）
 - ・LP ガス警報器の普及率（2019 年 77.1%、2002 年から右肩下がりの傾向）等
 - 2) (一社) 日本ガス機器検査協会（JIA）での住宅用火災 CO 警報器の製品認証開始
- (4) 「アメニティ Cafe」について、新規カテゴリーとして住宅用火災警報器を追加しホームページに掲載するとともに、ガス警報器の誤記を修正した。
- (5) B L 認定基準 12 品目の公表・施行や、住宅用火災警報器・スプリンクラー設備の認定基準等の改正について、情報共有した。
- (6) 点検普及ビルダー対応委員会と連携し、「住宅部品経年劣化スタディブック」の掲載内容について、(一社) 日本火災報知機工業会、ガス警報器工業会とともに調整した。

6. 給湯・暖冷房部会〔SDGs 目標：3、7、8、9、11、12、13、14、15、17〕

担当分野が広範囲に亘るため、各分野での活動は各委員会で主に実施することとし、部会では以下の活動を実施した。

- (1) オンラインミーティングで各委員会の活動状況について情報交換するとともに、部会主催の講演会について内容や講演者候補、実施の時期や方法等について検討した。
- (2) 部会主催のオンライン講演会を開催し、当部会および傘下委員会、環境部会、外皮部会、開口部会等から49名(会議室10名+WEB39名)の参加があった。アンケートでは、全員が「(大変)参考になった」「(大変)満足」と回答した。
 - ・日時：2022年1月24日(月)15:00～16:30
 - ・講演者：エコワークス(株)社長 小山貴史氏
 - ・テーマ：脱炭素社会に向けた住宅の姿とその道筋、課題や対応策など
- (3) 関連団体との連携等
 - ① 環境部会を介して、住団連の性能向上委員会の「住宅性能関係制度の合理化要望提案」に対応した。
 - ② 運営委員会を介して、「脱炭素化(省エネ)リフォーム支援策への住宅部品提案」及び(一社)リフォーム推進協議会の「リフォーム減税対象工事見直しに関わるアンケート」に対応した。
 - ③ 「住宅における良好な温熱環境実現推進フォーラム」について、部会長が同フォーラムの「普及啓発部会」に委員として、「企画・調査研究部会」にオブザーバーとして参画した。
 - ④ 住団連の機関紙の特集記事「カーボンニュートラルに貢献する先進的な住宅設備」の執筆に協力した。

【ガス給湯委員会】【石油給湯委員会・ソーラーシステム委員会】

〔SDGs 目標：3、7、8、9、11、12、13、14、15、17〕

- (1) 国の動向として、①ガス・石油温水給湯器トップランナー基準、②特定保守製品の見直し、③長期使用製品安全点検制度改正、④小売事業者表示制度(省エネラベル)、⑤住宅・建築物の省エネ在り方検討会、⑥ZEHの認知度向上に向けた官民連携による広報活動、⑦家庭用給湯器の納期遅延に対する国の事務連絡などについて、情報共有および今後の対応等の意見交換を実施した。
- (2) 関係団体の動向として、①B L認定基準の改正に関する情報、②高効率ガス給湯機の普及促進に関する他団体を含む取組および普及実態(台数、コスト等)、③給湯器等の性能自己適合宣言書に関する住団連からの依頼などについて、情報共有および今後の取組み等の意見交換を実施した。

【電気給湯委員会】〔SDGs 目標：3、7、8、9、11、12、13、14、15、17〕

- (1) 「電気給湯機」のB L認定基準改定の必要性について意見交換を行い、適宜改正を検討することとした。
- (2) 住宅の省エネ基準適合義務化、ZEH、給湯機のトップランナー基準改定などの省エネ性能向上に関する施策や、良質な住宅ストックの形成に向けた住宅政策、長期

優良住宅化リフォーム推進、IoT、住宅の温熱環境に関する研究などの住宅施策の検討状況等について、行政や関係団体から情報収集し、委員と共有して意見交換を行った。

- (3) 「アメニティ Cafe」の内容の更新の必要性について意見交換を行い、必要な箇所を抽出し更新した。

【暖冷房システム委員会】〔SDGs 目標：3、7、9、11、12、13、14、17〕

- (1) 国の動向に関する情報として、①ガス・石油温水給湯器トップランナー基準、②特定保守製品の見直し、③長期使用製品安全点検制度改正、④小売事業者表示制度（省エネラベル）、⑤建築物省エネ法・ZEHに関する施策について、情報共有および意見交換を行った。
- (2) 「アメニティ Cafe」の全面見直しを実施し、サイトを更新し、情報発信した。
- (3) 2021年11月26日に、TOTOテクニカルセンターの施設見学会を実施した。
- (4) 給湯・暖冷房部会のWEB講演会に参加した。
- (5) メーカーでの取り組みとして、リンナイ(株)の「製品サポートページ」を紹介した。

7. 開口部会〔SDGs 目標：3、7、8、9、11、12、13、14、15、17〕

部会は、アルミサッシ委員会、断熱型サッシ委員会と合同で開催し、傘下の各委員会の活動内容の情報共有と意見交換を行った。

【スチール部品委員会】〔SDGs 目標：11、12、17〕

- (1) B L 関連情報および各専門部会・委員会の活動情報を共有した。
- (2) 玄関ドア及び改修用玄関ドアのB L 認定基準（通気装置を追加）の改定について周知活動を行うとともに、玄関ドア及び改修用玄関ドアのB L 認定基準（ドアアイ）について意見交換を行い扱いについて合意した。
- (3) 住団連の住宅ストック研究会の依頼を受け、検討テーマの提案（空き家の多用途への転換実態調査）等の情報提供を行った。
- (4) 「自分で点検！ハンドブック」の経年劣化事例について、具体的調査内容（戸車・外れ留め等の安全部品劣化、点検事例）について検討を行った。（調査実施は次年度。）

【手すりユニット委員会】【補助手すり委員会】〔SDGs 目標：11、12、17〕

- (1) B L 認定基準の制定・改正について、「隔板」の基準作成分科会に参加するとともに、「隔板」「墜落防止手すり」「歩行・動作補助手すり」の改正内容等について、確認・情報共有を行った。
- (2) 「墜落防止手すり」を長期的に使用できる仕様や施工方法などの対策が行われる製品とするべく、2021年の改正内容である無償修理保証期間の10年への拡大を受け、各委員会社との情報共有を行った。

【断熱型サッシ委員会】〔SDGs 目標：3、7、8、11、12、13、14、15、17〕

- (1) 環境部会に参画し、建築物省エネ法・ZEHなど省エネ性能向上に関する施策の情

報の収集と共有を行った。

- (2) 「WindEye」の利用拡大に向けた使用実態・課題の整理・分析を踏まえた活用に向けた提案書を作成し、これ基に工務店等に WindEye 活用提案を実施し普及活動を行った。また、窓の熱性能審査委員会に参画し、「WindEye」のバージョンアップ情報などについて情報共有を図るとともに、WindEye 提案活動で得られた改善ニーズを共有した。
- (3) 国のリフォーム関連施策の情報及びリフォームに関する新技術・消費者ニーズなどに関する情報共有を行った。
- (4) B L-bs 部品を含む B L 部品の普及促進に向け、市場要望に合った認定制度となるよう情報を共有し、認定基準の改正などへの協力を行った。

【アルミサッシ委員会】〔SDGs 目標：3、7、8、9、11、12、13、14、17〕

- (1) ①換気機能付きサッシ・ドアなど（省エネ効果、感染予防対応）、②抗菌・抗ウイルス基準適合建材（ドアノブ、ドアハンドル等）、③防災・レジリエンス対応（防災シャッター、止水板、防災安全ガラス等）、④窓・ドアの断熱改修（外窓交換、内窓設置などの省エネ効果や課題等）などに関する情報収集活動を行い、開口部会との合同委員会で成果発表し、情報共有を行った。
- (2) 省エネ関連等の国の動き（あり方検討会など）や、開口部会の各委員会の活動内容、各専門部会等の活動内容、（一社）日本サッシ協会のビルサッシ委員会の活動内容及び技術情報について、内容の共有を行った。
- (3) サッシ及びドア・セットの JIS 改正（2021 年 2 月：断熱性の等級の追加等）を踏まえ、「アメニティ Cafe」のサッシ性能などについて検討し、更新した。
- (4) B L の「窓用シャッター」基準作成分科会へ参加し、基準策定に協力した。
- (5) 2021 年 11 月に移動委員会を実施し、多摩市の長谷工マンションミュージアム及び KDD I ミュージアムを視察し、それぞれの情報を共有した。

8. 外皮部会〔SDGs 目標：3、7、11、12、13、14、17〕

- (1) 高性能な外皮仕様の普及啓発
 - ① 「外皮ってなに？」説明用パワーポイント資料について、従来の 5 項目（断熱による快適性・健康性・省エネ性、遮音性、耐久性）について最新情報に基づく見直しを行うとともに、「災害への備え」「WITH コロナへの対応」の 2 項目の内容を追加した。
 - ② 「外皮ってなに？」パンフレットについて、上記内容を反映した改訂を行った。
 - ③ パワーポイントの説明動画（7 項目版）を「アメニティ Cafe」にアップした。
 - ④ 一般向けのセミナーの開催（コロナ禍で次年度以降に延期）に向けて、消費者団体である、（公社）日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会の関係者に部会作成資料を説明し意見交換を行った。
- (2) 2050 年カーボンニュートラル宣言に伴うグリーン成長戦略・脱炭素あり方検討会や住団連の情報など、省エネ関連情報について情報を共有した。
- (3) 「住宅における良好な温熱環境実現推進フォーラム」の普及啓発部会に参画した。

9. 共同設備部会

【給水ポンプシステム委員会】〔SDGs 目標：12〕

- (1) 給水ポンプシステムの維持管理の重要性啓発活動
 - ① マンション管理センター通信（12月号・1月号）への給水ポンプシステムに関する記事掲載。
 - ② 東管新聞（12月号）に、予防保全・保守点検の重要性についての広告を掲載し、市場に対する啓発活動を実施。
- (2) 通信機能を有した、「遠隔監視型」および「随時点検型」の監視機能付き製品のB L-bs規格の検討に協力した。
- (3) 「アメニティCafe」を充実するため、新製品情報等を更新（写真データの更新）について委員に確認を行った。

【給水タンク委員会】〔SDGs 目標：8、11〕

- (1) 給水タンク安心支援サービスについて、登録後5年経過したユーザーに四半期ごとに点検案内を送付し、各社数件の問い合わせ実績あった。またサービス情報の提供方法について運用方法の見直しの必要性について協議した。
- (2) （一社）全国給水衛生検査協会より依頼のあった「令和2年度貯水槽水道の適切な管理に関する紙上シンポジウム」に協賛した。引き続き給水タンクの維持管理の重要性についてPRを進めていくこととした。
- (3) 「アメニティCafe」の給水タンクについて、維持管理等のPRとして内容の見直し等を実施していくことを確認した。
- (4) 給水タンクの新規用途探索に向けて、「防災道の駅」に設置される給水タンクの認定基準等に関し、（一社）道の駅連絡会と面談し情報収集を行ったが、特別な基準等は確認できなかった。これを受け、今後は防災道の駅にこだわらず、防災減災をキーワードに給水タンクに求められる機能等の探索を行うことを決定した。

【エレベータ委員会】〔SDGs 目標：9、12〕

- (1) 設置するエレベーターをB L部品とすることを仕様としている公共住宅発注者（東京都（都営住宅経営部）、都市再生機構、東京都住宅供給公社）について、エレベーターに求める仕様や性能についてヒアリング調査を行った。
- (2) 東京都都営住宅経営部から都営住宅におけるエレベーター運転データの計測について相談があり対応した。

10. アウトドア部会

【屋外収納ユニット委員会】〔SDGs 目標：12〕

- (1) 「屋外収納ユニット」の点検項目案を作成し、「自分で点検！ハンドブック」への掲載を依頼した。
- (2) 「鋼製物置」に必要とされる耐震性調査としての試験目的を明確にし、必要なデータや評価方法などを作成した。また、加振試験の試験場を調査した結果、費用が高額であったため、日本屋外収納ユニット工業会に協力依頼し、試験方法及び費用負担について議論いただくこととした。
- (3) （一社）プレハブ建築協会の定期的な要請により、応急仮設住宅向けの屋外収納

ユニットの生産供給可能数について各メーカーにヒアリングし、集計して報告した。

【郵便受箱委員会】〔SDGs 目標：9、11、12〕

- (1) 日本郵便との意見交換会を実施するにあたり、意見交換する内容を収集してまとめ、コンタクト先の情報提供を行って準備した。
- (2) B Lホームページ・お客様相談窓口の「郵便受箱のメーカー名が分からない場合」の資料を更新した。

【宅配ボックス委員会】〔SDGs 目標：7、8、9、11、12〕

- (1) 「グリーン住宅ポイント制度」への対応に加え、新たな「こどもみらい住宅支援制度」について、審査員（宅配ボックス担当）の選出、性能証明書内容変更についての情報共有を行った。
- (2) 「置き配」の現状および「置き配」保険（日本郵便）について情報共有し、「置き配」に対する宅配ボックスの立ち位置などを引き続き検討した。

11. 換気・配管システム部会

【換気ユニット委員会】〔SDGs 目標：3、7、12、13、14、17〕

- (1) リモートで工務店4社と住宅の換気に関する意見交換会を開催し、有意義にヒアリングができた。
- (2) 「アメニティ Cafe」について、よりユーザーにわかりやすい表現、最新の情報への更新を行った。
- (3) 国土交通省からの情報、住宅金融支援機構からの情報、ALIA 運営委員会の各種資料・報告書などについて、情報共有を行った。

【配管システム委員会】〔SDGs 目標：3、8、9、11、12〕

- (1) B L配管システムの基準改定についての取り組み
 - ① 先分岐工法追加のための検討を行い、有識者のヒアリングを行った。
 - ② B L部品は維持管理(点検)が行えることが大前提であるため、B L規定上で先分岐工法の運用は困難と判断し本テーマを終了することとした。
- (2) 講演会の実施（WEB 開催）
 - ① テーマ「拡張排水システムの概要・住宅への適用」
 - ② 講師 明治大学 光永威彦先生
- (3) 「アメニティ Cafe」の更新の必要性を確認し、一部画像の差替えを行った。
- (4) ALIA 運営委員会の各種資料・各種報告書、国土交通省からの情報などを共有した。

VII. その他の委員会等

1. 窓の熱性能審査委員会〔SDGs 目標：7〕

- (1) 「WindEye」へのフレームデータ登録に必要な知識について講習会を行った。（7月2日、2社3名が受講。）
- (2) 住宅設計者への「WindEye」普及を目的に、断熱型サッシ委員会と協働で、工務店及び（一社）JBN・全国工務店協会への説明会を実施した。実際に使った感想や改良

要望も多くいただき、今後につなげることにした。

- (3) 「WindEye」の申請に慣れていないメーカーに対し、疑問点への対応、計算手順の助言、及び診断を行うサポート体制を整備した。
- (4) 昨今のペーパーレス化・脱印鑑の流れを踏まえ、ガラス及び遮蔽物の登録申請において、電子申請で実施する方法に変更を行った。（「WindEye」の申請要領の改正。）
- (5) 窓の熱性能を計算し証明する従来の機能に加え、必要な熱性能値から該当するサッシ枠とガラスの組み合わせをアウトプットする機能（逆引き機能）を企画・開発した。
- (6) 新規登録数（3月末時点）
 - ・フレーム：659 窓種、5088 断面
 - ・ガラス：基礎データ 8 点
 - ・遮蔽物（ブラインド）：107 点

2. 統計ハンドブック編集PJ〔SDGs 目標：12〕

住宅部品に係る市場動向と市場規模の変化を的確に把握するため、各部会・委員会等を通じて統計データを時系列に収集・整理し、今後の市場動向を加味した「2021年版 住宅部品統計ハンドブック」を作成し、会員をはじめ関係団体等に広く情報提供した。

- ・住宅部品（商品収録数：60 分野 93 品目）の統計データ
- ・業界統計等で金額のない品目は単価を推定し金額規模を算出
- ・原則として国内全出荷数量のデータを掲載し、品目によっては、住宅用推定比率により住宅部品の全体市場規模を算出

注) 各部会・委員会等の活動のうち、2022 年度事業計画の立案や、「住宅部品統計ハンドブック」へのデータ提供などの共通事項については、個別の記載を省略した。

主要行事等一覧(2021年4月～2022年3月)

月	内容または関係部会委員会名	詳細(日付、テーマ・タイトル名等)
【総会・理事会・主要行事】		
5月	第一回通常理事会	5/25 第一回通常理事会(事業報告・計画、収支決算・予算、通常総会召集)
6月	通常総会・臨時理事会	6/4 総会、臨時理事会(事業報告・計画、決算・予算、役員選任等)
	BL・ALIA 研究成果合同発表会	6/29 BL・ALIAの各研究成果の発表
10月	住宅部品点検の日 シンポジウム	10/6 テーマ: 人生100年時代に向けて住宅の点検を考え住宅設備・建材の在り方を伝える ○ALIA活動報告 (1) 人生100年時代に向けた住宅設備・建材のニーズ把握調査 (2) ALIAからの提言(点検の大切さ、啓発ツールのご紹介) ○基調講演 テーマ: 令和時代の住まいの点検 消費者庁長官 伊藤 明子 氏 ○パネルディスカッション テーマ: 人生100年時代に向けて、点検の大切さを伝えるには! コーディネーター 明治大学 名誉教授 顧問 向殿 政男 氏 パネリスト (公社) 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員 協会標準化委員会 委員長 釘宮 悦子 氏 パネリスト (一社) 日本住宅リフォーム産業協会 会長 (株式会社ゆめや 代表取締役) 盛 静男 氏 パネリスト (独法) 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 技術基準・規格課長 博士(工学) 三浦 範大 氏 パネリスト ALIA 住宅部品点検推進部会長 近藤 秀介 氏 【参加者 250 名】
11月	第二回通常理事会	11/24 第二回通常理事会(上半期業務執行状況報告 他)

【運営委員会】

開催月	開催内容
4月	4/13 -情報提供- ・住宅を取り巻く状況について、令和2年度補正予算及び令和3年度予算について(国土交通省) ・国土交通省「建築着工統計調査報告」(2021年2月)より 新設住宅着工戸数(2021年2月)の利用関係別原数値 他 (住宅金融支援機構) ・マンションリフォームマネージャー試験、第38回住まいのリフォームコンクール(住宅リフォーム・紛争処理支援センター) ・優良住宅部品認定基準の改正について、証紙頒布実績、お客様相談受付状況について 他(ベターリビング) -ALIA議題- ・2021年度理事会・総会の議案等について ・部会・委員会活動状況報告 他
5月	5/18 ・国土交通省「建築着工統計調査報告」(2021年3月)より 新設住宅着工戸数(2021年2月)の利用関係別原数値 他 (住宅金融支援機構) ・住まいるダイヤル、マイホームのもしもに備える事例BOOK(住宅リフォーム・紛争処理支援センター) ・お客様相談受付状況について 他(ベターリビング) -ALIA議題- ・2021年度理事会資料について ・部会・委員会活動状況報告 他
6月	6/16 -情報提供- ・住宅の質の向上及び円滑な取引環境の整備のための長期優良住宅の普及の促進に関する法律等の一部を改正する法律 他(国土交通省) ・国土交通省「住宅着工統計」(2021年4月)より 新設住宅着工戸数(2021年4月)の利用関係別原数値 他(住宅金融支援機構) ・住宅に関するトラブルの解決を支援—住まいるダイヤル(住宅リフォーム・紛争処理支援センター) ・頒布実績報告、お客様相談受付状況について(ベターリビング) -ALIA議題- ・部会・委員会活動状況報告 ・2021年度BL・ALIA研究成果合同発表会について ・通常理事会・総会・臨時理事会報告 他

7月	<p>7/13 -情報提供-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期優良住宅法の改正 他（国土交通省） ・国土交通省「住宅着工統計」（2021年5月）より新設住宅着工戸数（2021年3月）の利用関係別原数値 他（住宅金融支援機構） ・WEBサイトのリニューアルについて（住宅リフォーム・紛争処理支援センター） ・証紙頒布実績、お客様相談受付状況について（ベターリビング） <p>-ALIA議題-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第10回住宅部品点検の日シンポジウムについて ・部会・委員会活動状況報告 他
9月	<p>9/3 -情報提供-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 住宅局関係 予算概算要求概要、令和4年度 国土交通省税制改正要望事項（国土交通省） ・経営者による住宅景況判断指数（注文住宅）（2021年4-6月）／経営者による住宅景況判断指数（賃貸住宅）（2021年4-6月） 他（住宅金融支援機構） ・「専有部分の修繕等に関する規則変更の件」（住宅リフォーム・紛争処理支援センター） ・証紙頒布実績、お客様相談受付状況について（ベターリビング） <p>-ALIA議題-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会・委員会活動状況報告 ・ストック住宅の省エネリフォーム支援策への提案についての報告 ・令和4年度 税制改正・予算等の要望について
10月	<p>10/13 -情報提供-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅生産行政の最近の動向等（国土交通省） ・国土交通省「住宅着工統計」（2021年8月）より新設住宅着工戸数（2021年8月）の利用関係別原数値 他（住宅金融支援機構） ・「住宅相談統計年報2020」（住宅リフォーム・紛争処理支援センター） ・[第38回住まいのリフォームコンクール] 受賞者について、住宅相談統計年報（2021年）（住宅リフォーム・紛争処理支援センター） ・証紙頒布実績、お客様相談受付状況について（ベターリビング） <p>-ALIA議題-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規賛助会員入会（LXHausys）について ・2021年度第二回通常理事会について ・部会・委員会活動状況報告 他
11月	<p>11/9 -情報提供-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅ローン借換えの実態調査【概要】他（住宅金融支援機構） ・「住宅の調査と補修」-2021年版住宅紛争処理技術関連資料集、住宅リフォームの市場規模について（住宅リフォーム・紛争処理支援センター） ・お客様相談受付状況について「水回りの良好な温熱環境の実現に資する製品リスト」の更新について（ベターリビング） <p>-ALIA議題-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費規程の改定について ・2021年度第二回通常理事会について ・部会・委員会活動状況報告 他
12月	<p>12/15 -情報提供-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度補正予算（住宅局関係）（国土交通省） ・国土交通省「住宅着工統計」（2021年10月）より 新設住宅着工戸数（2021年10月）の利用関係別原数値 他（住宅金融支援機構） ・第30回（2021年度）マンションリフォームマネジャー試験結果発表（住宅リフォーム・紛争処理支援センター） ・頒布実績、お客様相談受付状況について、優良住宅部品認定基準の改正について 他（ベターリビング） <p>-ALIA議題-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NACSの賛助会員への入会について ・2022年度事業計画の柱について（重点課題） ・部会・委員会活動状況報告 他
2月	<p>2/18 -情報提供-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素社会の実現に向けた住宅・建築物における省エネ対策、建築基準制度のあり方について 他（国土交通省） ・令和4年度住宅金融支援機構関係予算案 他（住宅金融支援機構） ・証紙頒布実績、お客様相談受付状況について、優良部品認定基準「隔板」の新規制定について 他（ベターリビング） <p>-ALIA議題-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会・委員会活動状況報告 ・2022年度部会・委員会要求予算について ・2021年度の事業企画部会・運営委員会年間スケジュール 他
3月	<p>3/8 -情報提供-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「住宅着工統計」（2022年1月）新設住宅着工戸数（2022年1月）の利用関係別原数値 他（住宅金融支援機構） ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う増改築相談員の登録更新手続きの特例措置について 他（住宅リフォーム・紛争処理支援センター） ・お客様相談受付状況について（ベターリビング） <p>-ALIA議題-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賛助会員の入会について ・部会・委員会活動状況報告 ・2022年度事業計画（案）について ・2022年度部会委員会予算（案）について 他

【事業企画部会】

4月～ 3月	開催回数 10回 ・各部会事業計画、事業報告、理事会報告 ・研究成果発表会、講演、シンポジウム企画の検討 ・シンポジウムの結果報告 他
	SDGs 検討WG 開催回数 5回 ・関係団体ヒアリングの報告 ・新たな取組の枠組検討（支援対象・支援方法等） ・理事会報告資料（支援制度の骨子案等）の整理 他

【講演会・勉強会・説明会】

6月	広報部会	6/29 BL・ALIA研究成果合同発表会 講演「良好な温熱環境の実現に向けて～低燃費住宅と健康 ・快適性能との関係～」 近畿大学建築学部長 教授 博士(工学) 岩前 篤 氏
7月	窓の熱性能審査委員会	7/2 WindEye 講習会
9月	配管システム委員会	9/9 WEB講演会「拡張排水システムの概要・住宅への適用」について 明治大学理工学部 専任講師 光永 威彦 氏
10月	キッチンルーム部会	10/22 キッチンリフォームに関する勉強会（WEB開催） 有限会社アド・リビング 代表取締役 立澤 宏一 氏
	バスルーム部会	10/28 WEB講演会 「健康と入浴」について 株式会社バスクリン つくば研究所 石澤 太市 氏
11月	換気ユニット委員会	11/19 住宅の換気に関する勉強会開催 愛知県 いわいハウジング様 他、ビルダー計4社
1月	給湯・暖冷房部会	1/24 WEB講演会「脱炭素社会に向けた住宅の姿とその道筋、課題や対応策など」 エコワークス(株) 社長 小山貴史氏
3月	点検普及ビルダー対応委員会	3/2 BLR主催 寺子屋 WEB講習会 「住宅部品点検ツールと活用事例のご紹介」

【見学会等】

7月	バスルーム部会	7/8 シャボン玉石けん（福岡県北九州市） WEB工場見学
11月	リフォーム・施工部会	11/21 首都圏外郭放水路(埼玉県春日部市) 見学
	暖冷房システム委員会	11/26 TOTOテクニカルセンター南新宿施設見学
	アルミサッシ委員会	11/26 長谷工マンションミュージアム、KDDIミュージアム（東京都多摩市） 見学
12月	消費者制度部会	12/23 ミサワホーム東京施設見学会(高井戸)

【専門部会・空間部会】

部会名	開催内容
広報部会	開催回数 11回 ・機関誌ALIANEWSの定期発行、ホームページの運営管理 ・BL・ALIA研究成果合同発表会開催 ・住宅部品点検の日の周知とシンポジウム開催に向けての広報活動 他 ○ALIANEWS編集委員会 開催回数 11回 ○WEB企画・管理委員会 開催回数 12回 ○イベントWG 開催回数 12回
消費者・制度部会	開催回数 11回 ・「コロナ禍における住宅部品必要性調査 （住宅設備のサブスクリプションサービスの必要性調査）」を実施。 ・調査報告書取りまとめ(3月)
環境部会	開催回数 10回 ・「コロナ禍における住宅部品必要性調査（生活者の購入意向調査）」を実施。 ・調査報告書取りまとめ（3月）
リフォーム・施工部会	開催回数 11回 ・「既存戸建て住宅への住み替えに関する生活者の意識調査」を実施 ・住団連、リ推協等他団体活動への参加 ・国交省等関連予算・制度要望について リフォームに関する予算・制度要望をとりまとめ提出。

住宅部品点検推進部会	<p>開催回数 <u>11回</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsを関連付けた部会の中長期ロードマップ策定についての審議継続 ・住宅部品点検文化の醸成とそれに関わる施策、及び施策の進捗確認 ・「第10回住宅部品点検の日」シンポジウムの企画推進 ・東京都WEB交流フェスタ出展への企画・推進 ・「住宅部品のお手入れ点検」ぬりえキャンペーン2021 開催 ・シンポジウムへの協賛を依頼 ・ビルダー向けの新たな啓発ツール「住宅部品経年劣化スタディブック」の発刊（9月） <ul style="list-style-type: none"> ○点検普及ビルダー対応委員会 <u>開催回数 12回</u> ○点検普及消費者対応委員会 <u>開催回数 11回</u> ○業界連携委員会 <u>開催回数 10回</u> ○住宅部品点検研究委員会 <u>開催回数 7回</u> <p>宝くじハンドブックWG 開催回数 <u>9回</u></p>
トイレルーム部会	<p>開催回数 <u>6回</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメニティCafé内容見直し(洗面化粧ユニット) ・統計ハンドブック出荷実績コメント作成 ・「コロナ禍における住宅部品に関する消費者WEB調査」を環境部会と連携し実施。 ・専門部会からの検討依頼対応(点検普及ビルダー対応委員会・環境部会)
バスルーム部会	<p>開催回数 <u>6回</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「入浴実態と健康入浴法の実施・意向調査」報告書作成 ・優良住宅部品の普及促進 ・浴室空間の温熱環境、入浴実態に関する調査・研究 10/28 株式会社バスクリン 石澤太市氏 「健康と入浴」の講演会を開催 ・シャボン玉石けん WEB工場見学会開催 他
リビングルーム部会	<p>開催回数 <u>6回</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・B1認定基準「内装ドア」についての改定内容共有 ・「内装建材の警告表示に関するガイドライン」にハザードピクトグラムを掲載し改訂 ・日本繊維板工業会「繊維板およびパーティクルボード JIS改正案」内容共有 他
キッチンルーム部会	<p>開催回数 <u>7回</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活者のキッチン設備機器の劣化に関する意識・行動調査」報告書作成 ・ビルダー勉強会（キッチンリフォーム現場の現状・課題）の開催と情報収集 ・優良住宅部品普及促進 他
住宅情報部会	<p>開催回数 <u>0回</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅情報システム委員会 <u>開催回数 6回</u> ・テレビ共同受信機器委員会 <u>開催回数 11回</u> ・火災・ガス警報委員会 <u>開催回数 5回</u> ・「アメニティCafé」への掲載内容の追加
給湯・暖冷房部会	<p>開催回数 <u>3回</u>(内1回は講習会主催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガス給湯・石油給湯&ソーラーシステム合同委員会 <u>開催回数 6回</u> ・電気給湯委員会 <u>開催回数 6回</u> ・暖冷房システム委員会 <u>開催回数 6回</u> ・講演会の実施
開口部会	<p>開催回数 <u>4回</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スチール部品委員会 <u>開催回数 10回</u> ・手すり・補助手すり委員会 <u>開催回数 8回</u> ・断熱型サッシ委員会 <u>開催回数 9回</u>（開口部会との合同開催含む） ・アルミサッシ委員会 <u>開催回数 11回</u>（開口部会との合同開催含む）
外皮部会	<p>開催回数 <u>10回</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高性能な外皮仕様の普及啓発の一環として、WEBセミナーを見据え昨年作成の「外皮ってなに？」のパワーポイント資料の見直しをおこなった。 ・パワーポイント資料の見直しに伴い、2018年作成の「外皮ってなに？」パンフレットも見直しを行った。 ・良好な温熱環境実現推進研究会に関する情報を共有した。
共同設備部会	<ul style="list-style-type: none"> ・給水タンク委員会 <u>開催回数 6回</u> ・給水ポンプシステム委員会 <u>開催回数 6回</u> ・エレベータ委員会 <u>開催回数 8回</u>

アウトドア部会	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外収納ユニット委員会 開催回数 6回 ・郵便受箱委員会 開催回数 6回 ・宅配ボックス委員会 開催回数 6回
換気・配管システム部会	<ul style="list-style-type: none"> ・換気ユニット委員会 開催回数 6回 ・配管システム委員会 開催回数 4回
窓の熱性能審査委員会	<ul style="list-style-type: none"> 開催回数 8回 ・WindEyeフレーム：659窓種 5088断面、ガラス：基礎データ 8点、遮蔽物（ブラインド）：追加 107点の申請、審査を行った。 ・WindEyeのバージョンアップは、断熱性能値より検索可能な逆引き検索の対応を行った。 ・WindEye計算方法の講習会を1回/年行った。

【冊子・報告書・カタログ類】

5月	ALIANEWS編集委員会	ALIANEWS 春号発行
8月	ALIANEWS編集委員会	ALIANEWS 夏号発行
9月	点検普及ビルダー対応委員会	住宅部品 経年劣化スタディブック発行
10月	統計ハンドブック編集PJ	2021年版 住宅部品統計ハンドブック発行
	テレビ共同受信機器委員会	テレビ共同受信システム機器試験報告書発行 （「新4K8K衛星放送」受信システムへの改修時の課題）
	住宅部品点検推進部会 宝くじハンドブックWG	宝くじ版「自分で点検！ハンドブック」 （（一財）日本宝くじ協会助成事業）
11月	ALIANEWS編集委員会	ALIANEWS 秋号発行
1月	ALIANEWS編集委員会	ALIANEWS 新年号発行
3月	リフォーム・施工部会	2021年度「既存戸建て住宅への住み替えに関する生活者の意識調査」報告書発行
	消費者・制度部会	2021年度「コロナ禍における住宅部品必要性調査（住宅設備のサブスクリプションサービスの必要性調査）」
	環境部会	2021年度「コロナ禍における住宅部品必要性調査（生活者の購入意向調査）」報告書発行

【メールマガジン】

4～3月	WEB企画・管理委員会	部会委員会活動、講演会の案内等の定期メールマガジン発信（毎月20日）
	WEB企画・管理委員会	行政情報の適時メールマガジン発信

【関係団体委員会参加状況、主な活動】

ベターリビング	優良住宅部品認定基準委員会、J I S 認証業務諮問委員会、住宅用資機材適合評価等諮問委員会、B L ・ A L I A 連携検討会 認定基準の制定・改正、省エネ基準改正に伴う B L 部品認定基準等の改正について、住宅インフィル・リフォーム懇談会、住宅資材流通懇談会 マネジメントシステム審査登録諮問委員会、住宅の良好な温熱環境の実現推進フォーラム（企画・調査研究部会、普及啓発部会）
住宅生産団体連合会	政策委員会、住生活産業ビジョンWG、運営委員会、技能者問題委員会、国際交流委員会、住宅性能向上委員会（WG、SWG1、SWG2）、消費者制度検討委員会、消費者普及WG、環境委員会、IOT等先進技術活用WG、蓄電池SWG、建築規制合理化委員会（WG）、住宅税制・金融委員会、住宅ストック委員会、住宅ストック研究会、広報連絡会、住情報委員会
住生活月間実行委員会	実行委員会（幹事会）、中央イベント実行委員会、中央イベント企画委員会 第32回住生活月間中央イベント：京都
住宅リフォーム推進協議会	リフォームで生活向上プロジェクト実施連絡会議 運営委員会、市場環境整備委員会、広報委員会、技術情報委員会
ベターライフリフォーム協会	運営委員会、企画総務委員会
住宅履歴情報蓄積・活用推進協議会	住宅履歴情報蓄積・活用推進会議
日本建材・住宅設備産業協会	窓/ガラス分科会、団体連絡会、Iot住宅部会
日本能率協会	ジャパンホームショー実行委員会
日本ガス協会	くらしの創造研究会 運営会議
住宅金融支援機構	団体連絡会
日本住宅・木材技術センター	クリーンウッド建築・建設関連登録促進運営委員会
日本サッシ協会	ビル・サッシ委員会
インターホン工業会	戸外表示器管理委員会

会 員 状 況

【2022年3月31日現在】

会員種別	2020年度末 会員企業数	2021年度内		2022年 3月末会員企業数
		入会企業数	退会等企業数	
正会員	116社・団体	0社・団体	2社・団体	114社・団体
賛助会員	12社・団体	1社・団体	0社・団体	13社・団体
合計	128社・団体	1社・団体	2社・団体	127社・団体

(正会員退会状況)

	企 業 名	所属委員会	退会月	備考
1	大和重工株式会社	バスルーム部会	2021年3月	経費削減のため
2	日本オーチス・エレベータ株式会社	エレベータ委員会	2021年9月	経費削減のため

(賛助会員入会状況)

	企 業 名	入会月	備考
1	LX hausys	2022年 1月	韓国のみならず日本でも良質な住生活をサポートしていく上での情報収集のため